天草郡市バスケットボール協会 U - 1 2 部会

会 則 及 び 補 則

令和 元 年 7月13日(土)

天草郡市バスケットボール協会U - 1 2 部会

天草郡市バスケットボール協会 U-12部会会則

第1章 総 則

第1条 本会は、天草郡市バスケットボール協会 U-12部会(U-9キッズも含む)
(以下「本会」という)と称する。

第2条 本会は、事務所は会長宅に置く。

第3条 本会は、バスケットボールの健全な普及と振興を図り、子供達が安全かつ充実したクラブ活動をとおして、健全な発達を促すと共に、地域社会の福祉向上に寄与することを目的とする。併せて、部会運営をとおして、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

第2章 事 業

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
本会は、熊本県バスケットボール協会U-12部会(以下「県U-12」という)が実施する各種事業の運営に積極的に参加し、その運営を補助する
本会の主催・共催または主管する競技会等の運営を行う。
バスケットボールの競技力向上のための、講習会等の企画・運営を行う
審判員の養成、研修及び各種大会への派遣を行う
本会に所属する会員の資質の向上をはかる各種事業の開催
その他本会発展のための必要な事項

第5条 本会の事業年度及び会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第3章 会 員

第6条 本会は、次の者で組織する。
日本バスケットボール協会会員で熊本県バスケットボール協会会員として登録した者、または「県U-12」部会に登録したチーム関係者で、原則天草郡市内に居住しバスケットボールを愛好する個人及び団体。(詳細は別途「補則」に定める)
その他、本会の目的に協賛し、援助する個人及び団体

第7条 本会に入会しようとする団体(チーム)及び個人は、年会費を所定の口座に振込み入金し、確認後、常任委員会の承認を経て、入会を認める。
(登録に関する規定は、別途「補則」に定める。)

第8条 会員は、次の各号に該当するときは、常任理事会に諮り、退会勧告を行う。常任理事会において退会勧告を受けた団体・個人は、総会の決議により除名となる。
本会の名誉を棄損する行為のあった時
本会の趣旨に違反する行為のあった時
年会費の納期を怠った時

第4章 役員

第9条 本会に次の役員を置く。以下の役員は常任理事となり、常任理事会を構成する。

部会長	1名
副部会長	1名
支部理事	1名
副支部理事	1名
委員長	若干名（各専門部委員会の委員長）
財務会計	1名

- 2 監事は、総会の承認により2名以内を選任する。ただし、常任理事会での議決権は持たない。
- 3 必要に応じて顧問を置くことができる。この場合は、常任理事会の決議を経て部会長がこれを委嘱する。
- 4 部会長が必要と認めた場合、常任理事会の承認で部会長代行を設けることができる。
- 5 委員長は、各専門部委員会の理事の互選により推薦し、総会の決議により決定する。

第10条 前条第1項の から の役員は、総会の決議により選出する。

第11条 本会役員の仕事は、次のとおりとする。

部会長は、本会を代表し、会務を総理する。

副部会長は、部会長を補佐し、部会長事故あるときはその職務を代行する。

また、部会長の指名により、部会長代行になることができる。

支部理事は会長の指揮を受け、県U-12部会との連絡調整を図り、会務を処理する。

副支部理事は支部理事を補佐し、支部理事事故あるときは職務を代行する。

委員長は、委員会を代表し会務を処理すると共に、各専門部委員会と協力して事業の執行にあたる。

財務会計は、本会会計を処理する。部会長の承認により補佐を置くことができる。

- 2 監事は、本会の事業及び会計を監査する。必要に応じて常任理事会に出席できる。また、総会において監査内容等について報告する。
- 3 顧問は、本会の重要な事項についての常任理事会の諮問に応じる。

第12条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。役員に欠員が生じたときは、原則として補充する。補充により就任した役員は、前任者の残任期とする。

第13条 理事は、各団体(クラブ)から推薦する1名と、常任理事会から推薦する個人とする。理事と常任理事の兼務を妨げるものではない。

2 理事は、原則天草郡市内在住の者となる。

第5章 会 議

第14条 本会に次の会議を置く。

総 会 常任理事会 専門部委員会

第15条 総会は、通常総会、臨時総会とする。通常総会は、毎年1回招集し、臨時総会は部会長が必要と認めた時は、部会長が招集することができる。

2 総会は、第9条に定める役員及び第13条に定める理事によって構成し、部会長が議長となる。

3 総会は、過半数の出席により成立し、議事は、出席者の過半数の議決により決する。なお、可否同数の場合は、議長が決定する。

4 総会には、会則に別に定められているものの他、次の事項を付議する。

会則の変更

役員(常任理事)及び監事の選出(第9条第2項、第10条)

経費の収支予算及び決算及び監査報告

事業計画及び事業報告

年会費の額(納入方法等については別途「補則」で定める)

その他、部会長が必要と認めた事項

第16条 常任理事会は、部会長が必要と認めた時に随時招集する。

2 常任理事会は、過半数の出席により成立し、その過半数により議決する。

3 常任理事会の決議事項は以下のとおりとする。

総会へ提出する議案及び総会の決議によって委任された事項

本会の事業に必要な事項

本会の顧問の承認(第9条3項)

その他、会務の執行に必要な事項

4 常任理事でない会員が常任理事会に出席を望む場合は、所属委員会の委員長にその旨を申し出、所属委員長が出席する常任理事会の承認により、出席できる。ただし、常任理事会において、意見の陳述はできるが、常任理事会の議決権は持たない。

第17条 本会に、次の専門部委員会を置く。委員会の業務については、別途補足に定める。
審判・マンツーマンディレクター部委員会
強化ユース育成・指導者育成部委員会
競技・事業部委員会
総務・財務部委員会

2 専門部の各委員長は、理事の中から推薦した者を、総会の承認により常任理事となる。委員長は、常任理事会に参加し、専門部委員会の会務の状況及び課題について説明する。事業執行上必要な事項について常任理事会に諮問する。

第6章 会 計

第18条 本会の経費は、年会費、大会参加費、補助金、寄付金及びその他の収入をこれに充てる。

第19条 脱退または除名された会員は、一度納入した年会費等の返還を要求することはできない。退会者は、退会日までに納入すべき年会費は完納後、退会する。

第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第21条 本会に登録しようとする団体及び個人は、毎年所定の年会費を納入しなければならない。年会費に関する規定は、別途補足に定める。

第7章 慶 弔

第22条 会員・クラブ生に対する慶弔は、内容に応じて常任理事で協議して対応する。

第8章 付 則

第23条 本会運営上必要な事項は、別途「補則」を定めることができる。

第24条 本会が主催・共催・主管する各種大会・事業において発生した事故・傷害等に対する補償は、各団体・個人が締結した保険等の約款の限りとし、別途本会が本会や役員である団体・個人への個別の補償には応じない。

第25条 この会則は、総会の議決を経なければ改正できない。

この会則は、設立総会の承認により、令和元年7月13日より施行する。

第6条 委員長に関する事項を次のとおり定める。(会則第17条第2項)

委員長は、会則9条第1項第5号により常任理事となる。

委員長以外の委員は、理事または部会長が推薦する者とする。

各委員会の委員数は、必要に応じて定める。

委員長を補佐する副委員長を置くことができる。この場合、委員長が委員会の理事の中から指名する。委員長は副委員長を配置したら、部会長もしくは常任理事会で報告する。

- 2 各委員会の業務は概ね次のとおりとする。どの委員会の業務か判然としない場合は、部会長の判断による。複数の委員会が共同で事業あたる場合もある。

審判・マンツーマンD部委員会

審判の養成に関すること

審判・コーチ講習会の開催に関すること

審判員の派遣に関すること

マンツーマンDに関すること

その他委員会の活動に必要な事項

強化ユース育成・指導者育成部委員会

選手育成及び指導者育成に関すること

ミニバスケットボールの普及、育成に関すること

DC・火の国旗選考及び編成に関すること(競技・事業部委員会と協同実施)

その他委員会の活動に必要な事項

競技・事業部委員会

各大会の運営に関すること

県U-12部会に係わらない各種大会等の個別ルール等に関すること

DC・火の国旗選考及び編成に関すること(競技・事業部委員会と協同実施)

その他委員会の活動に必要な事項

総務・財務部委員会

会の運営に関すること

各大会等の庶務に関すること

体協及び各体育団体等との連絡・調整に関すること

年会費及び大会参加費の徴収と各施設の使用料等経費の支払い

上記の他、本会が取り扱う全ての財務に関すること

その他委員会の活動に必要な事項

第7条 以下の各違反事項と、それぞれの罰則規定を次のとおり定める。

以下の ~ に該当した場合は、本会が主催する各種大会への参加は原則として認めない。

令和2年度は県U-12及び本会の方針で変更の可能性もある。

正当な理由がなく、登録した大会を棄権したチーム。

登録した大会に、不参加を大会前日までに、競技・事業部委員長及び対戦相手に正当な理由がなく連絡を怠った場合。

正当な理由がなくオフィシャル不履行(遅刻を含む)の場合。

大会で決定している割当て審判(帯同)を正当な理由がなく不履行の場合。

正当な理由がなく後片付け等の、会員が協力して行う作業等を不履行の場合。
審判・指導者講習会を申込み、正当な理由がなく欠席した場合は、参加申し込みが終了していない次の大会への出場は認めない。

- ③ 本会への年会費振込・参加申込期限切れや内容不備の場合、原則登録を認めない。
大会に係わる監督会議等を無断で欠席した場合、当該大会の参加を認めない。
正当な理由がなく、無断で総会不参加の場合、新規登録を認めない。また、退会勧告の対象とし、常任理事会に報告する。

この補則は、設立総会の承認により、令和元年7月13日より施行する。